



1. マーケット・レート

			2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	3月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7470	3.7490	3.7300	3.7560	3.7780	+0.0220
	BRL/JPY	Spot	29.63	29.49	29.77	29.67	29.64	-0.03
	EUR/USD	Spot	1.1361	1.1392	1.1371	1.1374	1.1367	-0.0007
	USD/JPY	Spot	111.04	110.57	111.01	111.46	111.98	+0.52
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.407	6.398	6.413	6.408	6.398	-0.010
	Future	1Year(p.a.)	6.531	6.534	6.518	6.559	6.548	-0.010
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.358	3.358	3.358	3.453	3.464	+0.011
	USD	1Year(p.a.)	3.583	3.551	3.539	3.543	3.562	+0.019
株式	Bovespa指数		97,239.88	97,602.50	97,320.94	95,584.38	94603.75	-980.63
CDS	CDS Brazil 5y		161.00	157.55	154.10	155.48	157.87	+2.39
商品	CRB指数		181.750	181.402	183.226	182.746	181.496	-1.250

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは、カーニバル休暇前のポジション調整を受けて一時3.79台まで下落。
- 25日(月)は、先週末に米中通商問題に関する懸念が一旦後退したことを背景としてレアル買いが優勢となり3.7340で寄り付いた。しかしマイヤ下院議長の年金改革法案に関するコメントが嫌気され、レアルはじりじりと下落。その後小幅に買戻しの動きが見られ一時週間高値3.7190まで上昇するも、週末に入るとカーニバル休暇を控えたポジション調整の動きが広がり週間安値3.7940を付け、結局3.7780で週越した。
- 25日(月)発表のブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2019年は2.48%で据え置かれ、2020年は2.58%から2.65%へ上方修正された。インフレ率予想は2019年は3.87%から3.85%へ下方修正され、2020年は4.00%で据え置き。年末の為替レートは2019年は3.70、2020年は3.75でそれぞれ据え置かれた。
- 25日(月)、下院議長のホドリゴ・マイア氏がインタビューに応え、年金改革法案を推進する上で反対派との交渉に苦戦している旨を発言。当初、同氏は下院での年金改革法案の投票時期を5月頃の予定としていたが、今回のインタビューは6月頃と軌道修正。審議の長期化を示唆した。
- 27日(水)、ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表は下院歳入委員会での公聴会にて米中通商問題について発言し、両国の協議が合意に達するにはまだ時間がかかる旨を示した。24日にトランプ米大統領が本協議について「十分な進展があった」と発言し、関税率引き上げの延期を発表していた中、不透明感が再浮上。リスクオン相場に水を差す形となった。
- 28日(木)、ボルソナロ伯大統領が現在議会に申請中の年金改革法案に関して発言し、女性の年金受給の最低年齢を62歳から60歳に引き下げる可能性を示唆した。20日(水)に法案を議会に提出した直後の修正であったことが嫌気され、レアル資産全般に売りが広がった。

3.今週のチャート&ハイライト



伯実質GDPは予想を下回るも2年連続でプラス推移

28日(木)に発表された伯実質GDPは、2018年通年の成長率が+1.0%と、前年の+1.0%から横ばいの2年連続プラス推移となった。個人消費が+1.9%と前年の+1.4%から上昇したことに加え、設備投資は+4.1%と、前年の▲2.6%から大幅上昇し、2013年以来の前年比プラス推移。しかし成長率自体は市場予想を下回り、昨年5月末のトラック運転手ストや、大統領選挙を巡る景況の不透明感の影響が想定以上に大きいことが明らかとなった。2019年も引続き緩やかな成長が継続することが見込まれるが、年後半にかけては年金改革法案の議会交渉が大詰めを迎える。改革の行方はブラジルの将来を左右しかねないテーマであり、引き続き議会の動向には注目が集まる。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.70—3.80

来週のレアルは横ばい推移を予想する。4日(月)、5日(火)はカーニバル休暇により休場。取引再開は6日の正午以降となる。年金改革法案に関する報道に注目が集まるも、来週いっぱいのブラジル市場は材料もなく、動意に乏しい展開が予想される。一方、国外市場では2月の米雇用統計が発表される。国内市場の流動性が欠ける中で、予想から大きく乖離する結果となった場合の大額な価格変動には留意したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	貿易収支(月次)	\$3000m	\$3673m	\$2192m
ブラジル	総輸出	\$17012m	\$16293m	\$18579m
ブラジル	総輸入	\$13000m	\$12620m	\$16387m
米	個人所得	0.3%	-0.1%	--
米	個人支出	-0.3%	-0.5%	0.4%
米	ISM製造業景況指数	55.8	54.2	56.6
米	ミシガン大学消費者マインド	95.9	93.8	95.5

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
米	3/5	新築住宅販売件数	Dec	580k	657k
米	3/6	MBA住宅ローン申請指數	Mar	--	5.3%
米	3/6	ADP雇用統計	Feb	185k	213k
米	3/6	貿易収支	Dec	-\$54.2b	-\$49.3b
米	3/7	新規失業保険申請件数	Mar	--	225k
米	3/7	失業保険継続受給者数	Feb	--	1805k
ブラジル	3/8	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Feb	--	0.1%
ブラジル	3/8	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Feb	--	6.6%
ブラジル	3/8	FGV CPI IPC-S	Mar	--	0.4%
米	3/8	住宅着工件数	Jan	--	1078k
米	3/8	非農業部門雇用者数変化	Feb	185k	304k
米	3/8	失業率	Feb	3.9%	4.0%
米	3/8	平均時給(前月比)	Feb	0.3%	0.1%
米	3/8	平均時給(前年比)	Feb	3.3%	3.2%
米	3/8	労働参加率	Feb	--	63.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方に上て利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。